

FUKUOKA CITY

■記事についてのお問い合わせはこちらへ
 広報課 ☎711-4016 ⑦732-1358

■市政に関するご意見はこちらへ
 広報課 ☎711-4067 ⑦733-5580
 ※⑦はファクスの略号です。

●福岡市ホームページアドレス
 http://www.city.fukuoka.jp/

福岡県西方沖地震
 元気バイ!! ふくおか
 4月29日～5月5日
 キャンペーン実施中

ふくおか 市政 だより

No.1316
2005 5/1
 (平成17年)

今号のおもな内容

- 福岡県西方沖地震 1～3面
- 「こども未来局」4月にスタート 4面
- 児童手当 早めに申請を 5面
- アイランドシティの「町名」を募集 5面

人口1,390,747人
 男/667,141人 女/723,606人
 世帯数/643,797世帯 (平成17年4月1日現在推計)

編集・発行 福岡市長室広報課 〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号 (毎月1日・15日発行) 印刷/株式会社西日本新聞印刷



「こんな時こそ明るく」

入学の季節を迎え、玄界小にも六人の新しい年が入ってきました。一年生を受け持つ荒武武己教諭です。

玄界島では、子どもたちは毎朝「がんぎ段」と呼ばれる二百段以上ある階段を上って、おしゃべりしながら登校しています。が、仮設住宅に近い玄界小の校舎は、五月下旬に仮設住宅に近づくにつれて、荒武教諭は「子どもたちが非常階段を上って仮設住宅に登校するのを見ていると、島での姿を思い出すので、子どもたちも元気がやわやわ」と荒武教諭は話していました。



仮設住宅が「いよいよ完成」

玄界島の住民の皆さんは、地震が発生した日に着の身着のまま避難して以来、一月以上たつた。四月二十五日に着の身着のまま避難生活を送ってきた。四月二十五日に着の身着のまま避難生活を送ってきた。四月二十五日に着の身着のまま避難生活を送ってきた。

復旧に向け活動本格化



大規模な被害があった4月20日、玄界島で家々の間を見回す市職員

福岡市を突如襲った「福岡県西方沖地震」で、市は「福岡市地震災害復旧・復興本部」を四月十二日に設置し、市民の生活再建や施設復旧などに向けた取り組みを開始するとともに、西区玄界島に復興事務所を開設しました。また四月下旬には、玄界島の皆さんが居る仮設住宅が完成。西区西浦地区、能古島、東区志賀島でも仮設住宅の建設が進んでいます。震災から一か月余り。大きな被害もあつたものの、復旧・復興に向けた動きが本格化しています。(この記事は四月二十日時点で書いています) 2・3面に関連記事

「市地震災害復旧・復興本部」を設置 福岡県西方沖地震から1か月

市は、地震発生直後に「福岡市災害対策本部」を設置し、市民の安全確保を第一に、情報収集や復旧・復興に、より重点的に取り組むため、新たに設置したものです。

復興本部は、本職による被害への対応が進んできたことを受け、今後、復旧・復興に、より重点的に取り組むため、新たに設置したものです。

復興本部は、本職による被害への対応が進んできたことを受け、今後、復旧・復興に、より重点的に取り組むため、新たに設置したものです。

玄界島に復興事務所 市職員5人を配置

「玄界島復興プロジェクト」の一環として、市は、四月二十日、現地に「玄界島復興事務所」を設置しました。

同事務所には、須川哲治市長以下五人の職員が、▽住民の生活支援に關する相談の受け付け▽地盤や建物などの現状調査▽今後のまちづくりに向けた住民の意向調査▽復興計画の策定に關する調整などにあたります。

復興事務所は、須川哲治市長以下五人の職員が、▽住民の生活支援に關する相談の受け付け▽地盤や建物などの現状調査▽今後のまちづくりに向けた住民の意向調査▽復興計画の策定に關する調整などにあたります。

たすけあう たったそれだけ うれしいな (人権尊重週刊入選作品 東光中学校1年 坂田 理菜さんの作品) R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

福岡県西方沖地震

西浦、宮浦、志賀島でも被害大

住宅と道路で支援

福岡県西方沖地震により、西浦地区、宮浦地区や東区志賀島などでも大きな被害がありました。住まいや仕事場が震災により大きな打撃を受け、地域の皆さんは将来に不安を抱えています。市は、災害の復旧・復興のため被災支援を進めています。



地域のつながり
地震により影響
西浦今津から海沿いのた住宅の数が視界に入道を北へ向かい、西浦地区に広がります。互が寄り添った

り壁がはげ落ちたりするなどの被害を受け、住宅が地震の被害を受けた世帯数は、同地区全体の世帯数九割のうちの六百を超えており、うち三割強を宮浦地区、四割強を西浦地区が占めています。

左上の写真は宮浦地区にある住宅で、地震の直後に撮影したものです。屋根瓦が落ちた母屋、壁がはげ落ち構造がむき出しになったため、地震の影響がいかに大きかったか、知ることができま

写真の住宅の持ち主である寺田(さん)は、西浦地区の親類宅に身を寄せています。寺田さんによると、住宅に被害を受けた人の中には、被害が少なかった納屋などで移泊している人もいます。また、著しく損壊した住宅のうちいくつかは、既に更地になってしま

住宅と道路で支援

的なめどが立たず、長年引かれた場所を離れて引っ越したところもあり、これから引っ越す予定の世帯も含め、その数

同地区の被災状況を案内して下さった北浦地区自治協議会会長の北浦徹(さん)は、「北浦は高齢者が多く過疎化が進んでいる地域。そこへ今回の震災で打撃を受けた。住む場所がなくなった

得ず北浦を離れる世帯が少なく、被災の被害が地域に与えた影響を、悔しさをにじませていました。

漁業や農業にも震災の猛威及ぶ

北浦地区は、漁業や農業が盛んな地域です。西浦地区の西ノ浦漁港では、荷さばき場に入った魚を運ぶフリートが運転できず、四月六日まで漁業が中断してしま



た日は日曜日でしたが、幸い、住民や行業客など人が土砂災害に巻き込まれずに済みまし

主要道路で土砂崩れ
島民の「足」を奪う
志賀島は、島を囲うよ



「福岡県西方沖地震」報道写真展を開催
市は、西日本新聞社と共催で、福岡県西方沖地震の様子を取った報道写真の展覧会を、5月9日から15日まで、イムズビル(中央区天神一)地下2階広場で開催します。

市は、仮設住宅の建設を玄界島以外の地域でも行うよう県に要請しましたが、それを受けて県は、志賀島に十六戸、西浦に十一戸、西浦能古島に三戸の仮設住宅の建設を決定しました。西ノ浦漁港内の公園など市が管理する土地を利用して、四月十九日から建設工事が始まりました。住宅の完成は五月下旬の予定です。

ダムの貯水率 92.81% (4月20日現在) ● 年貯 76.75%

きょうのダム状況をホームページ(www.city.fukuoka.jp/suidou/)で月々金曜日の毎日更新し、紹介しています。

福岡県西方沖地震

震度5強、本震以降最大の余震 4月20日 市民生活に不安



不安な夜を迎える避難所＝警固公民館

三月二十日の本震以降、断続的に発生した余震のうちで最大のものが、四月二十日の余震で、規模がマグニチュード5.8、中央区や博多区などで震度5強を観測しました。市内各所で人や建物に被害が発生し、交通網は混乱して、再び市民の皆さんに恐怖をよみがえらせ、生活を脅かしました。

避難所の住民 地震への不安

余震のため公民館などに避難した人は、市内全体で二百二十八人に上りました。余震直後の警固公民館(中央区)では、近隣のマンションなどに住む高齢者や児童などが、落ち着かない様子で時間を過ごしていました。自宅の状況を確認するために、水風呂を掘っていました。

交通では、市営地下鉄が一時運行を見合わせ、改札口の外に運行を待つ人があふれました。また、都市高速道路が一時通行止めになり、主要道路が混雑するなど、朝の通勤時間帯に多くの人の足が乱れました。

被災者救援のため義援金を募っています 【受け入れ場所】各郵便局 【口座番号】01740-0-24545 【加入者名】福岡市災害対策本部 ※5月31日まで、通常払込み・通常振替の料金が免除されます。

市消防本部には、地震でけがをした市民から119番通報が相次ぎました。七十代の男性がアキレスけんを切るなど約五十人がけがをしました。西区玄界島ではけがが頻れ発生し、住宅1棟が全壊しました。市内で被害があった住宅は百棟を上回っています。また、玄界島の皆さんが避難する九電記念体育館でガラスが割れたり、商業ビルの壁がはがれたりするなどの被害も発生しています。

被災者救援のため義援金を募っています 【受け入れ場所】各郵便局 【口座番号】01740-0-24545 【加入者名】福岡市災害対策本部 ※5月31日まで、通常払込み・通常振替の料金が免除されます。

玄界島をモデルケースに 災害に強い地域をつくりましょう 望まれる自主防災組織

三月二十日起こった福岡県西方沖地震は、災害の恐ろしさを、わたしたち行政や市民の皆さんに伝えました。皆さんの中には、「もし地震を巻き込まれたら、災害が起こったら、そのときにどうしようとするか、考えて困った者同士で助け合えよ」という不安な気持ちで、これまで過ごしてきた日々が、今も忘れられません。しかし、今回の地震が示すように、災害とは予期しない時に起るものですが、大規模な災害が発生した後、皆さんがそれぞれ地域の中で、災害に対してどのように動くか、役割が決まっています。自治会や町内会、公民館など、住民同士が地域の中心となり、災害に備えることが、被災後の復旧や生活の再建に大きく貢献します。

「災害に強い地域づくり講座」受講希望者を受け付け中

市は、消火器の使い方や応急手当など防災の基礎知識について、消防署員を講師とした講座を開いています。「災害時に自分たちの命・財産を守るためには何をすべきか」をテーマに、皆さんの住む地域の特性に応じた内容で講義と実演を行います。費用は無料で、講座にかかる時間は1、2時間程度です。対象は、市内に住む人で、講座に参加する人数が20名程度の団体です。日程や会場など、詳しい内容は相談のうえ決定します。

Table with 2 columns: 区名 (東, 博多, 中央, 南, 城南, 早良, 西) and 問い合わせ先 (電話番号, FAX番号).

玄界島の皆さんがなぜ冷静にいられたのか聞くと、「漁業の島なので、男性が海に出たときに島を預かるのは女性。島では婦人消防隊が戦後長く組織され活動している。日ごろから災害に対して備えができていた」と語りました。島の皆さんの防災意識が高く、非常時に何をすべきか理解している。だからこそ、被害を最小限に抑えられたのです。

玄界島の皆さんがなぜ冷静にいられたのか聞くと、「漁業の島なので、男性が海に出たときに島を預かるのは女性。島では婦人消防隊が戦後長く組織され活動している。日ごろから災害に対して備えができていた」と語りました。島の皆さんの防災意識が高く、非常時に何をすべきか理解している。だからこそ、被害を最小限に抑えられたのです。

自主防災組織は、自分たちのまちを守るという意識をもとに、地域の皆さんが地域で連携し災害に備える組織です。市内の自主防災組織は、おおむね小学校区毎の自治協議会を基本に構成されています。平成十七年三月現在、百四十四の小学校区のうち七十校に組織があります。自主防災組織は、活動や避難経路の確保に役立ちます。

水害対策 止水板の設置費用を補助 中小企業を対象

止水板とは、製造会社によって止水板、防水板、防水扉など名称はまちまちですが、建物の地下や一階部分への浸水を防ぐため出入口に設置する、鉄やアルミなどでできた板をいいます。人が持ち運んで設置するものが多く、機械式により自動的に設置されるものがあります。福岡市では平成十五年七月十九日に、集中豪雨による水害が起こりました。まもなく雨量が多くなる季節がやってきます。市民の皆さんを災害から守るための一助として、止水板などの設置を補助させていただきます。

災害に備えて 自主防災組織

認識や応急手当の演習など、実際に体験しておけば緊急時に役立つ技能や情報を整理し、地域の各所に掲示板を立てたり地域の皆さんに地図を配布したりしています。市内の自主防災組織は、おおむね小学校区毎の自治協議会を基本に構成されています。平成十七年三月現在、百四十四の小学校区のうち七十校に組織があります。自主防災組織は、活動や避難経路の確保に役立ちます。



「自主防災ガイドブック」は、組織の二、福岡商議所ビル二階が実施する商工金融資金制度(市内で事業を営む中小企業者が必要とする事業資金を融資するための制度)の要件を満たす企業で、要件が次のとおりです。①本市に主たる事業所があり、六月以上同一事業を営んでいるもの。②県信用保証協会の保証対象業種で、中小企業社であるもの。③許認可などが必要となる事業は、許認可後六か月以上経過しているもの。④市税にかかる徴収金に滞納がないもの。⑤銀行取引停止処分などでなく、六か月以内に第一回目の不渡りを出していないもの。⑥同協会との関係で事実上、自主防災に備えて、皆さんの地域で自主防災組織を結成しませんが、新たな組織を作り活動すると災害時に役立つこととして、準備あれば愛いながら、この格言が「自主防災ガイドブック」の単元を全八十ページに及んで個別に詳しく解説しています。自主防災の理念から応急手当の詳しい解説まで、防災について幅広い知識を得られます。詳しくはお問い合わせください。【問い合わせ先】市民防災課(☎711-0566)733・5861

